

令和4年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会会議録

(令和5年6月16日作成)

1 開催日時

令和5年3月30日(木曜日) 13時28分～14時28分

2 開催場所

ふなばし市民大学校6階 第1教室

3 出席者

(1) 委員 高山委員(会長)、石川委員(副会長)、山口委員、山須委員、川田委員、山本委員、田中委員、高橋委員、齊藤委員

(2) 事務局 牟田社会教育課長、大橋主査、亀田副主査、木内主任主事、古川主事

4 欠席者 なし

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

- (1) ふなばし市民大学校運営要綱の一部改正について
- (2) 令和4年度修了生及び令和5年度応募状況について
- (3) 令和5年度カリキュラムについて
- (4) その他

※すべて公開

6 傍聴者数 0人

7 決定事項

- (1) ふなばし市民大学校運営要綱の一部改正について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (2) 令和4年度修了生及び令和5年度応募状況について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。

- (3) 令和5年度カリキュラムについて、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。
- (4) 生涯学習奨励ポイント事業について、事務局から報告があり、質疑応答及び意見聴取を行った。

8 議事 次のとおり

9 資料・特記事項

(1) 傍聴者配布用資料

- ① 次第
- ② ふなばし市民大学校運営協議会委員名簿
- ③ 席次表
- ④ 【資料1-1】ふなばし市民大学校運営要綱 新旧対照表
- ⑤ 【資料1-2】ふなばし市民大学校運営要綱
- ⑥ 【資料2-1】ふなばし市民大学校 応募者・入学者・修了者年度別比較表
- ⑦ 【資料2-2】令和5年度ふなばし市民大学校出願状況一覧（一次募集）
- ⑧ 【資料2-3】令和5年度ふなばし市民大学校学生募集 公開抽選会結果
- ⑨ 【資料2-4】ふなばし市民大学校 2次募集のご案内
- ⑩ 【資料2-5】令和5年度ふなばし市民大学校出願状況一覧（二次募集）
- ⑪ 【資料2-6】令和5年度ふなばし市民大学校学生二次募集公開抽選会結果
- ⑫ 【資料2-7】令和5年度ふなばし市民大学校出願状況一覧（二次募集含む）
- ⑬ 令和5年度 各学科カリキュラム
- ⑭ 船橋市生涯学習奨励ポイント事業関係資料

(2) 特記事項

今回は、令和5年8月に開催予定です。開催日時等は、後日お知らせします。

10 問い合わせ先

船橋市教育委員会 生涯学習部 社会教育課（ふなばし市民大学校）

047-460-6311

午後1時28分開会

○高山会長

それでは、ただいまより令和4年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を開会いたします。

まず、本日の出席状況について、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

事務局から本日の出席状況をご報告いたします。本日は、ふなばし市民大学校運営協議会委員9名に対しまして、9名全員の出席をいただいております。

○高山会長

ありがとうございます。

次に、会議の公開及び傍聴について、事務局から報告願います。

○事務局（大橋主査）

最初に、会議の公開についてご報告させていただきます。船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき、設置する附属機関及びこれに準ずるものの会議は、原則として公開することになっております。この会議もこれに基づき原則公開となっております。また、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱に基づき、会議終了後おおむね1週間以内に会議概要を公表し、その後個々の委員の発言内容を含めまして審議経過等が明確となるように会議録を作成し、委員名簿を含めて市のホームページで公表いたします。そのため、本日は会議を録音させていただきますことをご了承ください。

続きまして、傍聴人についてご報告させていただきます。傍聴人について受付をいたしました。傍聴希望者はありませんでした。

以上でございます。

○高山会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。

本日の会議の議題は、お手元に配付した次第のとおり、議題1「ふなばし市民大学校運営要綱の一部改正について」、議題2「令和4年度修了生及び令和5年度応募状況について」、議題3「令和5年度カリキュラムについて」、議題4「その他」とし、この順で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○高山会長

ありがとうございます。それでは、議事に入ります。

議題1「ふなばし市民大学校運営要綱の一部改正」について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

それでは、議題1「ふなばし市民大学校運営要綱の一部改正」について、ご説明させていただきます。

まず、資料1-1「ふなばし市民大学校運営要綱の新旧対照表」をご覧ください。

前回の第2回運営協議会の中で、令和5年度ふなばし市民大学校の授業編成についてご説明をさせていただきましたが、今回の改正は、令和5年度の学生の募集に合わせて授業の日時や定員などの見直しを行うために、令和4年11月14日付で要綱改正を行ったものでございます。

新旧対照表をご覧ください。第5条（学部、学科、定員等）について、くらしの教養及びこころとからだの健康学科の各区分について、定員を30名から36名に改めたほか、特別講座の見直しに伴う項目の削除を行っております。

続きまして、第6条と第10条をご覧ください。第6条（授業料）、そして、第10条（入学の制限）につきましても、特別講座の項目がございましたので、こちらについても同様に削除を行っております。

続きまして、第1号様式が資料3枚目の真ん中辺にございます。こちらの入学願書の部分ですが、前年度に性別についての記載を削除しましたが、授業を受け持たれる講師の方から、グループワークなどの班分けに使いたいなどの要望もありまして、今回、性別の記載を戻したほか、特別講座の項目について削除をしております。

そして、最後に第5号様式です。こちらは退学届の様式になるのですが、一部の文章におかしな部分があったので、文章の修正を行っております。

資料1-2、こちらが改正後のふなばし市民大学校運営要綱となっております。

ふなばし市民大学校運営要綱の改正についての説明は以上となります。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題1「ふなばし市民大学校の運営要綱の一部改正」について、質問等ありましたらお願いいたします。

せっかくの機会ですので、何かありましたら。

それでは、私のほうから。ライフデザイン学科はなかなかいい講座だと思ったのですが、残念ながら学生が集まらなかったということです。その辺の何かコメントがありましたらお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

ライフデザイン学科につきましては、令和4年度も学生募集を行ったのですが、令和3年度と変わって、完全オンラインで実施をするということと、曜日を水曜の夜だったものを日曜の午後に変更して、講座の時間が長くなったということもあり、募集をかけたところ3名となったところでございます。

令和5年度の授業を開催するにあたり、オンライン開催での応募者が芳しくないこと、あとは、どうしても学生間で横のつながりをつくるのが難しいという状況がございましたので、こういった理由から、対面方式での開催を市民大学校としては希望しておりましたが、講師側との折り合いがつかせんで、来年度についてはライフデザイン学科の開催は断念し、ライフデザイン学科とは別の形式での開催を検討しているところでございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかに何かございますか。

○事務局（大橋主査）

補足でもう少しよろしいですか。

○高山会長

どうぞ。

○事務局（大橋主査）

来年度の特別講座についてですが、現在のところ、メインとなるターゲットを働いている世代の方に設定をしまして、そういった方でも参加しやすいように、年間を通しての授業ではなく、全5回程度のコンパクトな内容とすること、平日の夜間の時間帯での実施、そして、交通の便を考えて利便性のよい船橋駅の周辺ですとか、そういった会場で開催をしていきたいと考えております。

また、ふなばし市民大学校は市内在住の18歳以上の方を対象としておりますが、令和5年度に行います特別講座については、市内在住の方だけではなく市内在勤・在学の

方も応募できるような内容にしていきたいと考えております。特別講座の内容につきましては、具体的に決まりましたら、また運営協議会でご報告をさせていただきたいと思っております。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかに何かありますか。定員等について何かありましたら。

○高橋委員

細かい話で申し訳ないですが、特別講座が要綱のほうではなくなっていますが、何を根拠に授業料を取りますか。

○事務局（大橋主査）

新しい特別講座については、別個に要綱をつくって実施していきたいと考えておりますので、今回のふなばし市民大学校運営要綱からは削除したところでございます。

○社会教育課長

特別講座をどのぐらいの授業料にするかとか、そういうところも今検討しているところで、無料ですと冷やかしですぐ辞めてしまう方もいらっしゃるかもしれないので、ある程度の授業料は取りたいと考えておりますし、高すぎたら来ないかもしれないしというところを検討しております。ただ、授業料は取りますので、別途要綱を設定してやっていきたいと思っております。

○高山会長

定員も、適宜応募者を見ながら増減されていると思うのですが、例えば、いきいき学部のくらしの教養学科が、昔50名が60名、そしてまた30名にして、今度は36名ということですが、今回6名増やされた理由をお願いします。

○事務局（大橋主査）

くらしの教養学科とところとからだの健康学科の定員ですが、授業を7階の第2教室で行っておりまして、新型コロナ対策をしても36名だったら何とか入るところです。昨年度は新型コロナ対策をやり始めたばかりで、教室も学生も変わったということもございまして、定員を30名に設定させていただいたのですが、36名まででしたら感染対策をした中でも対応できるだろうということで今回36名に増やしたところでございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかにございませんか。

それでは、議題1を終了いたします。

続きまして、議題2「令和4年度修了生及び令和5年度応募状況について」の議事に入ります。事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局（大橋主査）

では、令和4年度の修了生及び令和5年度に応募状況について、ご説明させていただきます。

まず、資料2-1「ふなばし市民大学校応募者・入学者・修了者年度別比較表」をご覧ください。

まず、令和4年度の修了生についてご説明をいたします。令和4年度は4月30日に入学式を行いまして、まちづくり学部102名、いきいき学部245名の合計347名が入学いたしまして、年間を通して授業を行い、令和5年3月5日に修了式を行いました。修了式の後も授業を行う学科がございますので、修了者数は年度末で確定をすることとしておりますが、本日の時点で328名が修了見込みとなっております。在籍者率、修了者率を見ますと、94.52%と過去4年間では最も高い数値となりました。

続きまして、令和5年度に応募状況についてご説明いたします。資料の2-2をご覧ください。こちらは、一次募集の出願状況をまとめたものになります。令和4年12月1日号の広報ふなばしに掲載しまして、同日より受付を開始、左下にございます令和5年1月23日消印有効で、それまでに募集したものの集計で、申込者数の合計の欄の一番下をご覧ください。358名の応募がございました。

そして、申込者数が定員を超えた学科については公開抽選会を行いました。その結果が資料2-3になります。こちらが一次募集の公開抽選会の結果となります。真ん中の「抽選」に○がついている学科が定員を超えた学科になります。ふなばしマイスター学科、くらしの教養学科1、園芸学科1、園芸学科2、この4学科について2月1日に公開抽選会を行いました。高山会長と石川副会長に立ち会っていただき、くじ引きをお願いいたしました。高山会長、石川副会長、ご協力ありがとうございました。

この申込者数358名に対して、入学決定が320名、そして、補欠の方が28名、落選の方が9名となりまして、空きのある学科については二次募集を行いました。この入学決定者320名と補欠者28名と落選者9名を足すと357名になるのですが、申

込をしたけれども抽選までに取り下げをされた方が1名おりましたので、数が合わないということになっております。この抽選結果については、2月9日に応募者に発送をさせていただきます。

続きまして、資料の2-4をご覧ください。こちらが二次募集のご案内になります。二次募集は令和5年2月15日号の広報ふなばしに掲載し、同日より受付を開始しました。真ん中より上にございます募集期間、3月7日（火）必着で受付を行いました。各学科の募集人数については記載のとおりとなります。

そして、二次募集の出願状況について、資料2-5をご覧ください。二次募集ですが、左下記載のとおり、令和5年2月15日から3月7日まで行い、102件の申込みがございました。最終募集人数が左から2番目にございますけれども、資料2-4に記載した二次募集の人数に、一次募集で入学を辞退した方を加えている関係で人数が増えております。

令和5年度の学生募集の傾向といたしましては、一次・二次募集ともに女性の応募の割合が高くなってございました。また、令和4年度の募集と比べますと、申込者数は一次募集が令和4年度は417件でしたが、令和5年度は358件と少なくなってございまして、二次募集は逆に、令和4年度の学生募集は39件でしたが、令和5年度の学生募集は102件と増えております。合計では456件から460件へと微増となっております。

続いて、資料の2-6をご覧ください。こちらが二次募集の公開抽選の結果となります。最終募集人数を超えました「抽選」のところに○がついている学科ですが、こちらの教養学科2、こころとからだの健康学科1、パソコン学科2・3・4、この5つの学科につきまして、3月14日に公開抽選会を行い、高山会長、石川副会長に立ち会っていただきまして、くじ引きをお願いいたしました。一番下の申込者数の合計102名に対し、入学決定が83名、補欠者が19名、落選者はおりませんでした。この二次募集の抽選結果については、3月17日に応募者に発送をしております。

最後に、資料2-7をご覧ください。こちらが一次募集と二次募集を合計した出願状況となっております。おおむね定員を超えるお申込みをいただきまして、平均年齢は、まちづくり学部が67.7歳、いきいき学部が70.5歳と、令和4年度の応募のときと比べますと両学科とも若干高くなってございます。学科で見ますと、例年どおり、ふなばしマイスター学科、園芸学科1・2の申込みが多くなったほか、令和4年度は定員を

割ってありましたくらしの教養学科1も申込みが多かったという形になります。全体としまして、パソコン学科を除いて午前と午後に授業がある学科については、午前中の授業に申込みが多いという傾向が見られました。

議題2「令和4年度の修了生及び令和5年度の応募状況」について、ご報告は以上となります。

今後ですが、4月中旬から各学科のオリエンテーションを行いまして、4月30日の入学式をもって入学者を確定いたしますので、入学者の状況につきましては次回の運営協議会でご報告をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題2「令和4年度修了生及び令和5年度応募状況」について、質問等がありましたらお願いいたします。

どうぞ、山口委員。

○山口委員

お答えできる範囲で構わないのですが、資料2-7の今年度の合計者数を見ていると、スポーツコミュニケーション学科が落ちているのが際立っている気がします。資料2-1の中で年度別に見ていくと、平成30年度の入学者が19ぐらいで、31年度で大きく授業内容が変わっていますよね。その結果として33まで増えて、令和2年度はコロナで休校、令和3年度は12名、これもコロナの影響も大きいのかなというご判断だと思います。そこから令和4年度は28と盛り返ってきて、簡単に考えると、今年度はコロナが終わりかけているので何とか増えるかなと期待したのですが、それにもかかわらず落ちている。この辺について何かお考えがあったらお聞きしたいなと思っております。増えた減ったで一喜一憂するのも何なのですが、まだ分析は今後というところも含めて何かお考えがあれば、ちょっと聞きたいなという気はします。どうでしょうか。

難しいですね。ただ、コロナが要因ではないというのは見えていると思うので、今後は踏まえて来年度以降のためにも、データを分析して上げていくような努力を、もちろんされているでしょうけれども、この落ち込み具合を見ると、より強くされていったほうがいいのかなと。

それと、もう一点あるのですが、資料2-1の在籍率を見ると、これもスポーツコミ

コミュニケーションが低いです。平成31年度以外は。一番下の平成30年度が78.95%、ほかを見ても一番低いですし、31年度は盛り返したのですが、令和3年度が83%と平均より下回っていて、そこから盛り返している令和4年度についても82%と唯一90%を切っているんです。この辺がスポーツコミュニケーションの気になるところですね。入学希望者自体が若干減ってきているところと、いざ入っても辞めてしまう方が他より多いというところは個人的には気になるので、学生に対してアンケートを取るなり、1年かけてでも分析していただいて、ちょっと聞けたらいいなという要望でもあります。

○事務局（大橋主査）

ありがとうございます。学生数が減っているとか退学者が多いですとか、そういった事実はございますので、今後もカリキュラムの内容については適宜見直していきたいと思っております。

○山口委員

大変でしょうけれども、よろしくお願いします。

○高山会長

よろしくお願いします。

ほかに何かございますか。川田委員。

○川田委員

私自身もスポーツコミュニケーションという言い方ではなくS1期、市民大学校が大きく変わったときに入学させていただいて、1年経験をしました。私自体は本当に楽しい思い出ばかりです。いまだにそのときの方たちとお付き合いをしています。いつもこの結果は大変残念に思っています。この市民大学校の場所が変わったということが何か影響をしているのか、また、スポーツコミュニケーションは、昔は夏見の体育館でキンボールですとかいろいろ体験がありました。また、一宮少年自然の家とか夏見の体育館とか、場所を移動してスポーツを経験させていただきました。今はずっと市民大学校内でやっているとか、移動はこういうところがありますとか、そういうところで退学者が出ることがあったのかなど。これは想像ですけども、そういう場所のこととか。カリキュラムが変わっても、きっと大きな面ではその内容が変わっていないのではないかなと思うのですが、その点はいかがでしょうか。

○事務局（木内主任主事）

活動場所につきましては、いわゆる健康大学のときと比べますと、内容も場所も変わってきてはおりまして、現在は主に中央公民館と市民大学校で、私が目を通した限りでは、当時は座学と実践とかなり内容を充実した形でやられていたというのを拝見したことがあるのですが、今現在は、障がい者スポーツ指導員の資格取得を一つカリキュラムに加えたことで主に座学が中心の授業、それに伴って、市民イベントを企画・運営するというのを一つ柱に立てていることで、当時とは模様がかわっているというところはあるかと思えます。場所や授業内容が、人員の変動に影響しているのかどうかというのは、正直なところ、平成31年度に授業内容を今の内容に変えて一度増えたところがあったり、その背景にはオリンピック・パラリンピックの追い風があったりと世情もあるかとは思いますが、これから内容を確認しながら考えていきたいと思えます。

○川田委員

ありがとうございます。

○高山会長

ありがとうございました。

ほかに何かございますか。

どうぞ。

○石川副会長

いきいき学部のほうの応募状況ですが、第一次の段階で3学科だけが達成しまして、二次募集であとを救ったという形になっているかと思えます。最終的に定員を確保できたのは、同じくらしの教養1と園芸の1・2ですか。その他の学科は定員に満たなかったというのは、一つ問題としては、一次募集の在り方、一次募集までの期間や告示の方法がどうだったのか、二次募集でフォローしないといっぱいにならないというところには何か原因があるのかどうか、おつかみかどうかお聞きします。

○事務局（大橋主査）

今年度、一次募集の人数が350ぐらいと例年と比べると少ない状態でしたが、広報の仕方は昨年度と変えた部分はないので、皆さんの目に届かない、結果として出なかったということになりますので、何か新たな伝え方などを考えていく必要はあるのかなと思っております。

○石川副会長

パソコン学科ももっと人気があったし、パソコン同好会をつくっているところは応募

がたくさんあるのですが、結果的に満たなかったというのは、何か原因があるのかなと私自身はクエスチョンに思っているのですが。

○社会教育課長

おっしゃるとおりで、まずパソコン学科ですけれども、最初は3クラスか2クラスで、応募が多くて何回抽選やっても落ちてしまうという声が聞こえてきて、クラスを増やしたのですが、今年は定員割れという応募状況を見て私もびっくりしました。やはり基礎的なところが多いので、その部分は皆さん今できているので、初級編・中級編というようにカリキュラムの中身を少し考えていく必要があるのかなと応募状況を見て思っているところです。本当に年によって全く違うというところがなかなかつかみづらくて、申し込まなかった人に意見が聞けないですし、そこは何とか分析していかなければいけないのでしようけれども、そういうところの声をつかんでいくということも課題なのかなとは思っております。

スポーツコミュニケーション学科ですが、初級障がい者スポーツ指導員の資格が取れますよといったときは、多くの申し込みをいただいて、平成31年度を見ますと定員30で応募者が35、入学者33ですから、定員以上に取っているということだと思えます。だから、何か目玉になるようなものがあつたときには増えるというところはありませんので、全学科を一遍に大きく変えることはできませんが何か集客できるようなことを、これまでも考えてはいますけれども、もうちょっとそれが必要なのかなというところでございます。

○高山会長

ほかに何かございますか。

日曜の講座を金曜日に移して、もっと増えるかと思ったのですが、逆に増えなかったもので、その辺はやっぱり分析しなければいけない課題と思っております。

山本委員、どうぞ。

○山本委員

資料1-2の5ページに、落選状況調査というのがありますけれども、これ3つの枠で年度があるのは、4回目は落とさないという意味ではないですよ。一応配慮が入っているのかなと。毎年度希望していても落ちて、3回落ちたら4回目はいいよと、そうではないのですか。ちょっとお聞きしたいと思いました。

○事務局（大橋主査）

落選状況調査というのは、資料1-2の様式第1号のところですか。同じ学科を2回落選した方については、3回目の抽選のときに当選確率を2倍とするという規定がございますので、確率が上がるという措置です。そのための調査になります。

○山本委員

分かりました。受講者で、昨年度も申し込んで、その前も申し込んで駄目で、今年度受かったと話していた方がいたので、学科によってはそんなに厳しいのかと思いました。

○社会教育課長

私が課長補佐でいる6~7年前ですか、さっき申し上げたパソコン学科を何回申し込んでも落ちるとい声が多かったので、クラスを増やすことと、救済措置ではないですが、取り入れようということで、変えた覚えがございます。

○山本委員

分かりました。ありがとうございます。

○高山会長

ほかにございませんか。

それでは、議題2を終了いたします。

続きまして、議題3「令和5年度カリキュラムについて」の議事に入ります。事務局からの説明をお願いします。

○事務局（木内主任主事）

それでは、「令和5年度ふなばし市民大学校のカリキュラム」について、ご説明いたします。

まず、令和5年度ボランティア養成学科カリキュラムから始まる、まちづくり学部のカリキュラムの変更等についてご説明いたします。

その前に、令和5年度のふなばし市民大学校のカリキュラムにつきましては、令和4年度のカリキュラムを基にしながら、カリキュラム編成会議での助言や学生からのアンケート等を考慮し、変更を加えて作成しております。

では、ボランティア養成学科についてご説明します。ボランティア養成学科につきましては、令和4年度に行いました市民活動団体プレゼンテーション、いわゆるマッチング会を市民協働課主催の市民活動フェアで行っているマッチング会と体験実習への参加に変更をさせていただきました。こちらの変更理由は、市民大学校で例年9月にマッチング会を行った後に、市民活動フェアという12月に行われるイベントでまたマッ

グ会へ参加するという、短い期間で2回同様のマッチング会が行われたり体験実習に行っていたということがありましたので、これを1回に統一することとした次第です。

○事務局（亀田副主査）

ボランティア養成学科担当の亀田と申します。市民活動団体の実習プレゼンテーションなのですが、市民活動フェアの来年度の実行委員がまだ決まっておりませんので、来年度こういったイベントにしていくかということが決まっておりません。今の段階では、昨年度と同じ時期に市民大学校でのプレゼンテーションも入れてありまして、さらに市民活動フェアでのマッチングに参加ということで、マッチングを両方のカリキュラムに入れさせていただいております。今後、市民活動フェアの実行委員が決まり、市民活動フェアがどういう方向になっていくかということが決まり次第、市民大学校のプレゼンテーションのほうも決めていこうと思っております。ですので、現在カリキュラムは未定ということでプレゼンテーションのほうは書かせていただいております。

○事務局（木内主任主事）

続きまして、スポーツコミュニケーション学科についてご説明いたします。スポーツコミュニケーション学科のカリキュラムは、今年度も引き続き、障がい者スポーツ指導員資格取得と専門学科の2本柱で授業を進めさせていただきます。

授業の内容につきまして変更がいくつかございます。

まず1つは、イベントの企画に関わるカリキュラムとしまして、新規で2コマ、「会議に取り組むための環境整理」と「会議の進め方の手法」という2コマを追加。また、ウオークラリーについての授業を1コマ設けていたのですが、こちらの授業を外すということで対応させていただきます。次年度につきましては、スポーツ健康都市宣言40周年という記念の年になります。市として記念イベントが予定されておりますので、そちらへも何らの形で参加をさせていただく予定でおります。

また、今年度、バスケットボールの千葉ジェッツさんとお付き合いをする機会があり、先方からお申し出いただき、1コマ授業をお願いすることといたしました。応募の状況については、初級障がい者スポーツ指導員資格取得に向けたカリキュラムで令和4年度は応募が多かったということもあり、5年度も継続して実施することとしております。しかし、今年度の結果を見ると、応募者が少なかったことでもありますので、6年度以降の授業につきましては、このまま継続をするのか、ほかのものを取り入れて変えていく

のかということは検討していきたいと思っております。

地域実践に関する授業ということでウオークラリーの授業を削除しましたが、削除した分につきましては、別途、他団体の活動に学生を参加させていただくという形で、地域での実践については自主課題として取り組むことで対応していきたいと思っております。

続きまして、生涯学習コーディネーター養成学科です。生涯学習コーディネーター養成学科につきましては、授業の内容に大きな変更はございませんが、カリキュラムの順番を入れ替えまして、より効果的な学習を見込めるようにということで並べ替えをさせていただいております。具体的には、授業当初に、大人が学ぶ意義ですとか生涯学習についての授業を入れ、その後、グループワークなどチームワークを養うような授業を入れていくという流れに変更しております。こちらについては、より円滑なクラス運営をするために、そのほうが望ましいのではないかとということでカリキュラムを編成させていただきました。

ふなばしマイスター学科につきましては、令和4年度と令和5年度に大きな変更は特にございませぬ。

続きまして、くらしの教養学科から始まるいきいき学部の授業カリキュラムについてご説明いたします。

まず、くらしの教養学科とこころとからだの健康学科、パソコン学科につきましては、令和4年度と授業内容については同様のものを予定しており、特に変更はございません。

園芸学科1につきましては、令和4年度は畑を2か所お借りして、御滝花園さんとアンデルセン公園の里山の一部を利用させていただいていました。令和4年度につきましては、春夏の野菜は2か所で行ったのですが、秋冬野菜は御滝花園さん1つの畑での授業となっております。令和5年度は、秋冬野菜についてもアンデルセン公園の圃場を使用して2か所で野菜づくりを実習するという形に変更させていただいております。

変更理由につきましては、アンデルセン公園の畑は、緑が多くて日陰になりやすい場所で、薬品の散布を頻繁にしている場所ではございませんので、病害虫が多いこと、また、昨年発覚したのですが害獣にトウモロコシが食い荒らされてしまうというようなことがあったのですが、しかし野菜は見事にできまして、秋冬野菜には向かないのではということで昨年度は敬遠したのですが、今年度は、やってみようということで取り入れることとしました。

また、例年ですと5月のゴールデンウィーク明けから授業をしているのですが、このタイミングですと園芸の授業で大切な土づくりについてのタイミングを逸してしまって、これまで授業で取り扱うことができなかつたので、今年度は4月から授業をさせていただいて、土づくりと畝づくりについて授業で取り扱うことといたしました。

続きまして、園芸学科2については、今年度新たな学習教材としてクリスマスローズの授業を追加させていただいております。あとは、授業の時期につきまして、ラン、菊、カザグルマを継続して各自で育てていくというのを授業の教材にしているのですが、適期に合わせまして授業の並べ替えを行いました。講師と事前に打ち合わせを重ね、適期にどうにかそろそろように調整を行ったところです。また、クリスマスローズにつきましては、カザグルマはクレマチスという種類の花なのですが、クレマチスとバラに並ぶ世界で人気のある品種ということで、新たに授業で取り扱うことといたしました。

主な変更点については以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

ただいまの議題3「令和5年度カリキュラム」について、質問等がありましたらお願いいたします。

特段よろしいですか。

それでは、議題3を終了いたします。

続きまして、議題4「その他」について、何か事務局からありましたらお願いいたします。

○社会教育課長

本日、机の上に「船橋市生涯学習奨励ポイント事業実施要綱」を置かせていただきました。今年度から施行しております第三次一番星プランの中で、「学びの成果を可視化する仕組みの構築」というものがございまして、どういう形でやっていったらよいかというところで、今年度夏頃に、カリキュラム編成会議の土井座長からいろいろと提案もございまして、それも含めて何ができるかと考えて、これを令和5年6月から、公民館等での学習等に対象を拡大し本格的に実施していきたいと考えているところでございます。

趣旨としましては、市民等の学習意欲を高めるとともに学習成果を適切に生かすことのできる環境整備に寄与するということでございます。

事業内容は、生涯学習活動を行ったときにポイントを付与するということをございます。対象者は市内在住・在勤・在学の者ということで、対象の学習活動としては、ふなばし市民大学校での学習、また、その他推進本部が認める事業への参加としております。

それで、生涯学習の分野を5分野に分けました。A3の大きい紙があると思いますけれども、「健康・スポーツ」、「文化・教養」、「地域活動」、「能力・自己開発」、「郷土理解」というそれぞれのカテゴリーに分けて、それぞれの講座を受けたときにポイントを付与するということになります。

「学びノート」の見本がありますけれども、裏面をご覧ください。スタンプをつくりましたので、そのカテゴリーの合うところにスタンプを押すということで、30ポイント貯まると、例えば「ふなばし学士☆健康・スポーツ」、60ポイント貯まれば「ふなばし学士☆☆健康・スポーツ」ということです。どんどん押していかないと意欲がなくなってしまうと思われるので、今のところは時間にしよう。1時間の講座というのはあまりないので、大体2時間までの講座だと思えますから、1講座受ければ2ポイントというふうに時間で区切らせてもらおうと考えているところです。

あとは、分野に関わらず100ポイント貯めたら「マナビスト」という称号と、A3のこの絵よりも少し大き目の、ちょっとしゃれたバッジも差し上げようと思っており、ご本人が希望すればホームページへの掲載というものも考えているところをございます。

本格稼働を令和5年6月としますが、この準備が学長まで了解を得た時点で市民大学校の令和4年度の修了式に間に合いましたので、修了生には全員に「学びノート」を配布して年間を通じて30ポイントの付与ということで、例えば、こころとからだの健康学科であれば、健康・スポーツの学士のバッジを修了生の皆さんに、お配りさせていただきました。対象の学習活動としては公民館ということでお話をさせていただいたところ、私は船橋アリーナを使うことが多いからアリーナも対象施設に入れてくれとか、そういう声も届いていますので、場所と内容は詰める必要があるかと思っているところをございます。

来年度のふなばし市民大学校の学生にも、希望する方にはノートをお配りして、その日講座を受けた後はスタンプを押してお帰りいただくという形を取っていくことになるかと思えます。先ほど言いました可視化できる、また、学習意欲を高めるということに少しでも寄与すればということで、この事業をやりたいと考えているところをございま

す。

説明は以上です。

○高山会長

ありがとうございました。

なかなかおもしろいポイント事業でありますけれども、何か質問とか要望がありましたら、お願いします。

従来の健康ポイントとの整合性はどうか考えたらいいですか。

○社会教育課長

健康ポイントはそのまま続けますので、整合というか別物という考えです。

○高山会長

市民から、公民館で生涯学習の講座に参加したけれども、この奨励ポイントを押してくださいという意見が出てくるかもしれません。

○社会教育課長

公民館の講座等も入れてやっていきます。懸念しているのは、これまでいっぱい受けたのと言われたらどうしようかなということです。そこは把握できないので、申し訳ないですけれども6月からとさせていただきます。繰り返しになりますけれど、令和4年度ふなばし市民大学校修了生の方にはお配りをさせていただいたところでございます。

○高山会長

その他、何かありますか。よろしいですか。

それでは、議題4を終了いたします。

以上で本日の議題は全て終了いたしました。今回の全ての議事を通じて、何か質問がありましたらお願いいたします。

特段なければ、これをもちまして質疑のほうは終了いたします。

本日の議事は全て終了いたしました。

本日の議事録の署名は、山須委員及び山本委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(両委員 了承)

○高山会長

それでは、以上をもちまして、令和4年度第3回ふなばし市民大学校運営協議会を閉会いたします。

午後 2 時 2 8 分閉会